



私鉄総連

庶務財政局書記

三谷 夏子

え、作っていくことが組合活動にとってとても大切なことだということでした。

その中でも、実際に交渉の場に入ったことがなかったり、組合員さんの意見を直接伺うことが少ない私にとっ

て、第5講の「実践効果的な労使交渉の進め方」や第8講の「職場との対話力の向上」今こそ求められる組合員への個別的問題解決力」では、交渉の場を再現したり、ヒアリングを実践するなど、大変興味深く、交渉の雰

囲気を感じることでできたことも含め、勉強になりました。交渉の場のロールプレイングでは、私は何も意見を言えませんでした

が、他の方々が理論的に、かつ、相手の考えを汲み取りつつ交

渉を進めていく様子、頭を切り換え、切り口を変えるなど、なるほど、と感心するばかりでした。

思いました。どちらにしておいても人と人のつながりであり、組合活動だけでなく今後の私の人生においても、人間関係を築いたり歩み寄る上でも大切なことであると感じ、大変有意義でした。

最後に、他の産別からは中央執行委員の方々が受講されている中、書記である私にも

全労生ユニオンカレッジを受講して

勉強の機会をいただいただけで

講義以外においても、これまで担当業務柄、他の産別の方々と交流することがあまりなかった私にとって、

他の産別の方とつながりを持たせていただいたこと、また、産別の状況や悩みを伺えたこととは大変勉強になりました。

とに感謝し、それに報いることができるよう、学んだことを胸に日々の業務に取り組みでいきたいと思えます。また、講義が業務中である場合にも、気持ちよく送り出してくれた職場にも感謝しております。

とに感謝し、それに報いることができるよう、学んだことを胸に日々の業務に取り組みでいきたいと思えます。また、講義が業務中である場合にも、気持ちよく送り出してくれた職場にも感謝しております。

て今を分析し、今を踏まえた上で未来を考

え、作っていくことが組合活動にとってとても大切なことだということでした。

その中でも、実際に交渉の場に入ったことがなかったり、組合員さんの意見を直接伺うことが少ない私にとっ

て、第5講の「実践効果的な労使交渉の進め方」や第8講の「職場との対話力の向上」今こそ求められる組合員への個別的問題解決力」では、交渉の場を再現したり、ヒアリングを実践するなど、大変興味深く、交渉の雰